



こんにちは！まだまだ暑い日は続きますね。暑い日はアイスクリームや冷たいものが食べたくなりますよね。暑さに負けず、水分もしっかり摂って、運動して夏バテしないように健康に気を付けていきましょう！

眼科豆知識 ～糖尿病網膜症～



どんな病気？

- 糖尿病で血糖値が高い状態が続くことにより、眼底の細い血管が障害され、血管の壁がもろくなったり、詰まったりすることによって、起きてくる網膜の病気を糖尿病網膜症といいます。
- 網膜症が進行すると、視力が低下し、失明することもあります。
- 実際に、糖尿病網膜症は、**日本における失明の3番目に多い原因**と言われています。



どんな症状？

- 初期には自覚症状はありません。硝子体出血や網膜剥離が生じると、飛蚊症や視力低下を自覚しますがこの時にはかなり進行した状態であることがほとんどです。
- 視力に大切な黄斑部に浮腫をきたすと、物を見たときに中心部分が歪んだり、かすんで見えたりします。

治療について

- ごく初期の網膜症の段階では、注意深く経過を見ていき、進行が見られた際には、その状態に応じて下記のような治療を行います。網膜症を悪化させないためには、日頃の血糖コントロールが重要です。
- **網膜光凝固(レーザー治療)**
- 毛細血管が障害され広範囲で閉塞された際に行うことで、新生血管ができるのを予防したり、すでに出てきている新生血管の活動性をおさえることを期待します。また黄斑部浮腫に対して行うこともあります。
- **硝子体手術**
- 進行した網膜症である、硝子体出血や網膜剥離を伴っている増殖糖尿病網膜症に対する治療です。
- **硝子体内注入**
- 黄斑部浮腫などに対し、薬剤を眼の中に注射する方法です。

糖尿病網膜症は、血糖値が良くても発症することがあり、また症状がない段階で治療が必要なこともありますので、今まで異常がなかった方も、必ず年に一度は眼底検査を受けましょう。

院長からみなさまへ

開催が心配されていたオリンピックが始まり、スポーツのことは詳しくない私でも、日本や海外の選手の活躍に、テレビに向かって声をかけたり、拍手をしたり、応援に力が入ってしまっています。

この日のために何年も地道に努力し、頑張ってきた選手の方たちの競技を観ると、元気をもらえる気がしますね。

どうか皆様も、感染には引き続きお気をつけて、良い夏を過ごされますようにお祈りしております。

お盆休みのお知らせ



誠に勝手ながら、下記のとおり休診いたします。皆様には、ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願いいたします。

8月13(金)～15(日) 休診

HPIにてスタッフブログも更新中
morishita-eye.jugem.jp

